

Work shop

～職人たちの考具を使ってコラージュアートを作ってみよう！～

日時：平成22年7月12日（月） 15時30分～

場所：芸術実習塔 共同和室

ワークショップ概要

職人たちは、それぞれが専門的な道具を用いて作品をつくっています。このような道具は、普段私たちが生活しているなかではめったに触れることがありません。そこで、私たちプロダクトデザイン、映像制作、日本画、洋画、彫刻を学んでいる職人の卵である学生たちが、日々の制作に欠かすことのできない考具を実際に皆さんに触り、使ってもらうことで、それらの職業や道具について関心を持っていただこうと考えました。

ワークショップの内容はコラージュアート体験です。作品のテーマは『道』。5～6人でひとつのグループをつくり、プロダクトデザイン、映像制作、日本画、洋画、彫刻それぞれの制作の現場で使われている道具をもちいて、アートを描くための材料を自分たちでつくってもらいます。そしてA3サイズの画用紙に、それらの材料を使ってテーマに沿ったアートを自由に描いてもらいます。

<作品例>

ワークショップにむけて、事前に私たちが予行演習としてつくった作品です。



ワークショップで使用した考具紹介



プロダクト デザイン

家具製品の製作現場などで使われるかんなをもちいて、木材を削った際にでてくる木くずを材料に使用します。

映像制作

撮った写真がすぐ出てくるインスタントカメラを使用し、映像（写真）をモチーフとしたデザインをしてもらいます。



日本画

石を砕いた粉末状の顔料に膠（にかわ）を混ぜた岩絵具を使い、自由に絵を描いてもらいます。

洋画

事前にキャンバス地に描いた絵や模様をテクスチャとして、自由に切り貼りしながら作品をつくってもらいます。



彫刻（金属）

金属を造形する基本である針がねとペンチを用いて、硬質な線形のデザインをもらいます。

<ワークショップ実演の様子>

テーマ：それぞれの『道』を表現したコラージュアートの制作



道具の使い方を説明しています。かなは木材の削る場所によって、木くずの形も変わります。



木くずと岩絵具を組み合わせる作品をつくっています。淡い色彩の調子がでています。



こちらのグループでは、重厚なイメージのテクスチャを切り貼りしています。



インスタントカメラは、カラーフィルムを使うと非現実的な色味で写すことができます。



普段使うことのない道具を手にとり、みんなで夢中になりながら作品を仕上げていきます。



限られた時間のなかで、それぞれのグループが個性あふれる作品をつくりました。

職人たちの道具、<考具>を手渡された皆さんが思い思いに制作したコラージュアートがこちらです。最初は使い方、つくり方に戸惑っていた皆さんも、少し時間が経つと色々な道具を使い分けてそれぞれの『道』を描き始め、各グループの個性が詰まった面白い作品を見せてくれました。

このワークショップを機会に、プロダクトデザイン、映像制作、日本画、洋画、彫刻各分野の専門的なことに少しでも興味・関心を持っていただけたら幸いに思います。

<完成作品>

